

[27] 次の記述は、「高等学校学習指導要領解説 総則編」(平成30年7月告示)の「第7章 学校運営上の留意事項 第2節 家庭や地域社会との連携及び協働と学校間の連携 I 家庭や地域社会との連携及び協働と世代を超えた交流の機会」の一部である。空欄 ～ に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 。

また、 の進行により、日常生活において、生徒が高齢者と交流する機会は減少している。そのため、学校は生徒が高齢者と自然に触れあい交流する機会を設け、高齢者に対する感謝と尊敬の気持ちや思いやりの心を育み、高齢者から様々な生きた知識や を学んでいくことが大切である。高齢者との交流としては、例えば、授業や学校行事などに地域の高齢者を招待したり、などを訪問したりして、高齢者の豊かな体験に基づく話を聞き、介護の簡単な手伝いをするなどといった体験活動が考えられる。また、異年齢の子供など地域の様々な人々との世代を超えた交流を図っていくことも考えられる。

- | | | | |
|---|------------|---------------|-----------|
| ① | ア 都市化や核家族化 | イ 人間の生き方 | ウ 高齢者福祉施設 |
| ② | ア 少子高齢化 | イ 多面的・多角的な考え方 | ウ 社会福祉協議会 |
| ③ | ア 都市化や核家族化 | イ 人間の生き方 | ウ 社会福祉協議会 |
| ④ | ア 少子高齢化 | イ 多面的・多角的な考え方 | ウ 高齢者福祉施設 |
| ⑤ | ア 少子高齢化 | イ 人間の生き方 | ウ 高齢者福祉施設 |